

平成 24 年度 地域の“まちづくりびと”養成講座
仲間づくりでまちづくり も～やっこ DE み～っけ♪

第 1 回 「まちで語ろう」

目的：コミュニケーション技法で楽しくなかまづくり

日時：平成 24 年 9 月 29 日（土）

場所：善光寺別院 願王寺

時間：13 時 00 分～16 時 30 分



彼岸花も咲き、秋の気配を感じながら、平成 24 年度地域の“まちづくりびと”養成講座（入門編）が始まりました。今回は、西区役所との共催で中小田井の岩倉街道周辺をモデルに、参加者みんなで思っていることや感じていることを話し合ったり、実際にまちを歩いたりしながら、合意形成やワークショップなどのまちづくりの手法を学び、体験する全 6 回の講座です。

今年の講座は、会議室やホールではなく、善光寺別院 願王寺のご住職のご厚意により、境内にある「明光閣」^{がんのうじ}を借りて行います。

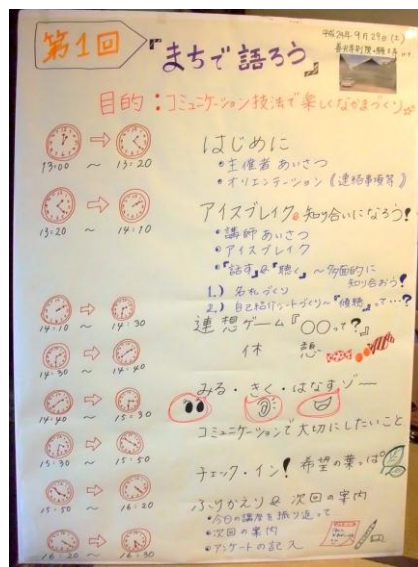
「明光閣」は、江戸時代天保年間（約 170 年前）の建築物で中小田井の町並み保存地区にあった旧平手邸を移築し、保存しているもので、地域の催しなどで使われています。また、大相撲名古屋場所の際には、伊勢ノ海部屋がここを宿舎にしています。会場に着くと、お寺で受付用のテントまで用意していただきました。

講座の企画・運営については、過去の名古屋都市センターの講座を修了した“まちづくりびと”のメンバーを中心として、西区役所、名古屋市住宅都市局歴史まちづくり推進室及び名古屋都市センター職員で行っています。

また、講座全体の講師及びアドバイザーとして、中京大学現代社会

学部講師でまち楽房（マチラボ）有限会社代表取締役 加藤武志さんをお願いしました。加藤さんも含めて 17 人で 4 月から

実行委員会やまち歩きの下見などを行い、企画を練ってきました。このメンバーで分担しながら講座当日の運営も行っていきます。



13:00～13:20 はじめに

会場の配置は、受講生、スタッフも含め 30 数脚の和室用のイスを円形に並べ、全員が顔を見合わせることができるようにしてあります。受講生は、各々好きな場所に座っていきます。

会議室などと異なった雰囲気、天井の梁の



一部は、長身の方だと頭が届いてしまうため、頭上に注意が必要です。

初めに主催者を代表して、名古屋都市センター 柴田主幹より挨拶がありました。



このたび、多くの方に受講していただき、大変うれしく思います。名古屋都市センターでは、平成 17 年度より地域の“まちづくりびと”養成講座を開催し、延べ 520 名の方が受講し、現在 152 名の方がまちづくりびとにご登録いただいております。今年は、願王寺ご住職のご厚意により、地元で開催することとなりました。この講座を通じて、楽しんでいただくのはもちろんのこと、様々なことを吸収していただき、まちづくり活動の輪を広げていく力になればと考えております。

次に、貴重な建物を会場としてご提供いただいた櫻井住職より、一言挨拶をいただきました。ご住職には、後日、講座の中でもお話を伺う予定です。

続いて、配布資料の確認、受講にあたってのお願い、講座全体の予定及び講師並びにスタッフの紹介など名古屋都市センター職員から説明を行いました。

また、西区役所まちづくり推進室 松葉主査より、西区から提供されたパンフレットや西区の基本的な事項について説明がありました。

西区区政運営方針の合言葉である「も～やっこ」についても強調されました。「も～やっこ」とは、名古屋言葉で「みんなで持ち合い、分け合う」という意味です。

講座もそんな雰囲気を進めていけるとよいと思います。

受講生は、34 名の方から申し込みがあり、地元西区在住の方を始め他の区や市外(市内在勤)からもまちづくりに興味のある方々が集まっています。(今日の出席者は 20 名)

まだ顔を合わせたばかりで、皆さん若干緊張した面持ちです。



13:20～14:10 アイスブレイク&知り合いになろう！

ここからは、加藤武志さんに講座を進めてもらいます。

講座の最初の緊張した雰囲気や不安感を和らげるため、アイスブレイクを行いました。

まずは、「クイックチェック」というアクティビティです。質問に対して「ハイ」なら右手の親指を上に向けて、「イイエ」なら親指を下に向け、「ハイでもイイエでもどっちでもない」場合は、親指を横に向けます。



ねらいは、参加者に自分の状態を簡単に知らせることで、気持ちが少しほぐれます。更に、挙手する方法よりも、気軽に意思表示ができ、小さな行動をすることにより参加へのハードルを下げ、参加のスイッチをオンにすることです。

次に、一般的に受講生が自由に座っている状態というのは、どうしても知り合い同士が固まってしまうことが多いため、人のシャッフルを兼ねて、誕生日順に並んでももらいました。(バースディリング)今回は言葉を発してもいいが、できるだけ短い時間で並ぶということにしました。しゃべってもよかったので、みなさん無事に並ぶことができました。

このアクティビティのミソは、自ら言葉を発しないと正しい位置を見つけられないこと。これも参加のスイッチを押していることになります。

もう少し難しくすると、言葉を使わずに身振り手振りだけで自分の位置を探し当てるやり方もあります。

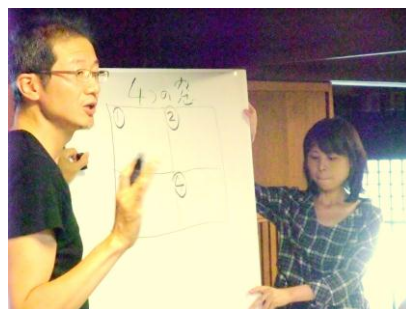
そうすると3、4組間違えますが、その間違いを引き出すことも笑いを生み、場を和ませるポイントになるそうです。

続いて、隣同士で2人1組になり、円の内向き、外向きに向い合えになって座ります。そして講座6回を通して使う名札づくりを行いました。配られた名札用紙に相手の似顔絵を体も入れて書きます。悩みながらもみなさん筆を走らせています。そしてお互いに交換して見せ合い、様々な表情や笑い声がありました。自分の名札に呼ばれたいニックネームを記入し、ひとまず完成です。

自分に似ていると思う人、と問われ、ほとんどの人が手をあげました。これは、相手に対して上手く描けなくて悪いなという後ろめたさもあり、多少自分の似顔絵が似ていなくても寛容な気持ちになるそうです。お互いに同じ目線・立場で同じ作業をすることで相手を信頼し、受け入れやすくなる効果があり、協働の第1歩を感じてもらう意味もあります。

次に、2人1組になって「4つの窓」というアクティビティを行いました。1枚の紙を折ってできた4つのスペースにそれぞれ次の質問の答えをで記入していきます。

- ①呼ばれたい名前（ニックネーム）
- ②私を表す漢字一文字
- ③自分NOW（マイブーム）
- ④私の夢



そして、書いた内容をお互いに共有します。その手順は、話し手は、4つの事項について、なぜ、それを書いたのか、意図やエピソードを含めて2分間で相手に伝えます。

聞き手は、メモを取らずに相手の目を見てしっかり聴きます。その後、「こういう話でしたよね」と1分間に要約して相手に戻します。次に攻守交替して同じことを行いました。

これは、話し方、聴き方のトレーニングで、主に「傾聴」ということを体験しました。まちづくりといっても結局は人と人のコミュニケーションであり、人の心である。相手の心に橋を架けようとする一番最初にすべきことは、自分が話すことでなく、相手の話を聴くこと。コミュニケーションは、聴くことから始まるといわれています。

きくという字には、「聞く」と「聴く」があります。「聞く(hear)」は、音として聞こえてくる。一方、「聴く(listen)」は、意味を理解して聴くという意味が含まれている、とのことです。さらに「聴」という漢字には、「耳」だけでなく、「心」と横向きで「目」という字も含まれているので、傾聴というのは、目を見て耳で入れて心に刻むということになります。友達や家族の前でも「傾聴」できるとよいなあと思います。

また、自己開示して共感してもらえると、心が通じ合ったなと感じます。うなずきながら聴いてもらったとか、受け入れてもらったということが大事なことです。



14:10~14:30 連想ゲーム「○○って？」

今度は4人1組となり、連想ゲームを行いました。

お題は「秋」です。秋と聞いて連想するモノを4人で、できるだけ沢山出し合いました。うち1人が書記役で、どんどん書き出していきます。

2分間で出し合った後、他のグループで出ていないだろうと思われるワードを3つ選び、グループごとに発表します。意外と同じワードは少なく、他のグループから出たオリジナルなワードに皆で拍手です。

紙とペンだけで簡単にできる作業で、1つのワードだけよりは、より多くのワードを引き出すことによって、意外なアイデアが生まれたり、結びついたりします。これはアイデア発想法の1つで「ブレインストーミング」という手法です。講座では「秋」をテーマにしましたが、地域活動などでも「まちづくり」や「中小田井」などをテーマに出し合って試してみると、新たなアイデアや発見があるかもしれません。



14:40～15:30 みる・きく・はなすゾー

休憩の後、新しいメンバーと組むため、トランプを使って3人1組のグループを決めました。

用意されたインタビューカードに、相手のことを「より深く知る」ための質問項目を4分間で3～5程度記入しておきます。

3人1組で各々「きくゾー」「はなすゾー」「みるゾー」役をローテーションします。「きくゾー」役は、インタビューカードを見ながら相手の目を見て質問をし、「はなすゾー」役が答えます。

「みるゾー」役は二人の会話の様子を観察しながら、雰囲気や聞き手の「たずねかた」、話し手の「応え方」等について気づいたことを「みるゾー」ふりかえりシートに記入していきます。(7分間)

次に4分間で、各々のふりかえりシートを記入していきます。

人の話し方や聴き方を観察しながら気づいたことや、それぞれの役割を体験して気づいたことなどあったようです。



15:30～15:50 コミュニケーションで大切にしたいこと

お互いが記入したふりかえりシートをグループで交換して読み合います。その後3人で感想を述べます。

自分では気づかなかった傾向や癖などが分かり、また、自分自身で実感して気づいたことなどが今日の学びとなったのではないでしょう。

「きくゾー」ふりかえりシート

●「たずねかた」聴く人のとき

- あなたは、相手の話をよく聴けましたか？聴きませんでしたか？
(a.全然ダメ、b.ダメ、c.ややダメ、d.まあ聴けた、e.聴けた、f.充分聴けた)
★とくに、どんな点で？
- 相手は、どれくらい自分のことを話せたと思いますか？
(a.全然ダメ、b.ダメ、c.ややダメ、d.まあ話せた、e.話せた、f.充分話せた)
★とくに、どんな点で？
- あなたは、相手が話しやすくなるよう、どんなことに気を付けましたか？
★できるだけ、具体的に
- 自分のたずねかたや話し方について、気づいたことは？(動作なども含めて)
- 相手の話し方や応答のしかたについて、気づいたことは？(動作なども含めて)

話し手(応答)： _____
あなたのニックネーム： _____ 氏 名： _____

©2011 まち未来学協会



15:50～16:20 チェック・イン！ 希望の葉っぱ

最後に、全員で分かち合いです。「希望の葉っぱカード」に各自で記入します。

- ①こんな取り組みできたらいいな！(思いやアイデアなど)
- ②わたし、こんなことでならお役にたてるかも！(特技や個性など)
- ③キーワード

講座のなかでも自分自身のことでもいいし、受講の動機でもいいので自由に記入します。

1人一言ずつ発表して、大きく広げられた希望の木の周りに希望の葉っぱを貼っていきます。

順番は、発表した人が次の人にマイクを渡す権利があります。

希望の葉っぱ

①こんな取り組みできたらいいな！(思いやアイデアなど)

②わたし、こんなことでならお役にたてるかも！(特技や個性など)

キーワード

呼ばれたい名前： _____

講義の成果もあってか、みなさん時間内でスムーズに発表していききました。

全員が貼り終わると世界で一つだけの講座の木が完成し、みんなで「も～やっこ」しました。



16:20～16:30 ふりかえり&次回の案内

最後に名古屋都市センター職員から次回の案内、アンケート等を行い、第1回目の講座は終了しました。

初回から皆さんの笑顔がこぼれながらも、中味の詰まった内容で、あっという間に終わったように感じました。



*** アンケートより、全体を通じたご意見・ご感想など ****

- ・ とても話しやすい雰囲気が出ていたと思う。
- ・ みなさんの特技等を知る事ができ、いろいろな人とのつながりをもっともっと大切にしていきたいと思った。
- ・ 皆のまちづくりへの思いがどの様なものか知り合いたい。
- ・ 色々な人がいてこれからが楽しみです。
- ・ 今回も楽しく参加したいと思います。
- ・ 本日はそれなりに楽しかったが、昔から社員研修でこうしたことを数多くやり、あまり役立った覚えがない。今後を待つ。
- ・ 毎回参加できるようがんばります。
- ・ 市民が自らの手によるまちづくりを進める一つのきっかけになる講座で考えさせられることが多くありました。ありがとうございました。
- ・ 非常に楽しかった。人とうちとける手法はとても参考になった。
- ・ 希望の葉、面白いが・・・。
- ・ 場所がお寺、木造、日本の家という点からか居心地いいし落ち着く、やり易い！
- ・ また参加したいです。
- ・ 次回も楽しみにしています。
- ・ 楽しかったです。今後の講座の進行が楽しみです。
- ・ 少し寒かった。上着をきるとよかった。反省しています。
- ・ 仲間の方 話を聞いて自分自身役にたつ様にします。
- ・ 緊張していましたが、導入部含め楽しくできました。
- ・ 楽しい会になりそうでこれからを楽しみにしています。